

助けたい 助けられたい 子育ても地域で支えま いずもファミリーサポートセンター

急な用事や残業などの際、子どもを預かってくれる人
が見つからなくて困ったことはありませんか。

市では、子育て家庭を地域全体で支え、安心して子育
てできる環境を整えるためファミリーサポート事業を実
施しています。

ファミリーサポートセンターってなに？

「子育ての手助けをしてほしい人（おねがい会員）」と「子育てのお手
伝いをしたい人（まかせて会員）」が会員となって有償で子どものお世
話を行うシステムです。

その橋渡し役として調整するのがファミリーサポートセンターです。

こんなサポートをします。

- ★保育所、幼稚園、学童クラブ、塾への送迎
- ★保護者の病気や急用等の際の預かり
- ★子連れでは出かけにくいときの預かり（学校行事・通勤・冠婚葬祭など）



会員の体験談（夫婦でまかせて会員）
「子どもたちから元気をもらっています。元気なMくんが来て
くれると、愛犬も喜び家の中が明るくなるので、生活にハリが
出てきます。」

利 用 料

（子ども1人につき／30分あたり）

★平日 7時～19時…… 300円

★早朝・夜間・土日・祝日… 400円

★病児…………… 400円

※兄弟姉妹で同時に利用する場合は、
2人目から半額

※おやつ代、交通費は実費負担

※対象は概ね0歳～小学6年生

◆おたすね・登録：いずもファミリーサポートセンター

本部 出雲市今市町109-1（旧市役所1階）[受付：月～金曜日 9時～17時30分] TEL：30-1261

支部 出雲市平田町2112-1（ひらた子育て支援センター内）

[受付：月～金曜日 8時30分～17時] TEL：63-4466

子ども達に夢を…
地元の力で子ども達を育てたい
〜大津地区の取り組み〜

「子どもたちを地域の力で育てたい」と工夫をしながら取り組んでいる活動が、市内にはたくさんあります。今回は、その一つ、大津民生委員・児童委員協議会の皆さんから聞いた「大津つ子育てる」取り組みを紹介します。

◆子育て支援の地域活動の内容



「夏休みおさらい教室」で子どもたちが学習する様子。学び合い・育ち合い・地域とのつながり合いは、子ども自身の育つ力の芽を大きくしてくれることでしょう。

0歳から就学前の子どもの対象の「すくすく広場」では、毎月一回、リズム遊びや遠足、季節の行事などをを行っています。毎回多くの親子で賑わいます。小学生対象には、寺子屋塾的な「読み書き教室」や「夏休みおさらい教室」を開催。夏休みには約100人もの子どもたちが勉強に励みます。乳幼児の親子が集まる自主的なグループ「びよっこクラブ」も楽しく活動。それぞれの企画運営は、地域の関係団体が連携し、知恵を出し合っている。

◆活動のきっかけと地域の思い

大津地区には、転出入者や核家族が多いという特性があり、子育て情報や親子交流の場を求めている人がたくさんいます。そんな中、大津地区の元教員の人たちが、小学校に行くまでの幼児の育ちを地域で支える必要性を感じ、立ち上げた活動が次第に発展していきま

えがおになあれ
③

子どもたちが明るく元気に育つのを
見ると、未来に希望を感じます。
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人
も「えがおになあれ」…そんな願いを
込めて、このコープを設けました。
（出雲市要保護児童対策地域協議会）

要保護児童対策地域協議会は、
子どもが健やかに育つよう社会の
さまざまな機関が子育て中の家庭
を見守り、必要に応じて支援し、
児童虐待等のない社会を目指す
ために組織したものです。

市長面会日でいただいた ご提案・ご意見

市長面会日の申し込み・おたすね／
広報情報課 TEL 21-8578

市長が市民の皆さんと直接お会いし、市政に対するさまざまなご提案やご意見を直接伺うため、毎月2回「市長面会日」を開催しています。いただいたご提案やご意見は原則公開し、透明性の高い開かれた市政運営を行っていきます。

1月から5月までの市長面会日でいただいた主な提案・意見を紹介します。

国土交通省の協力により、斐伊川河川敷公園の芝生化に取り組んだ。昨年6月に植栽し芝生化した。今年は大津小学校校庭の芝生化に取り組みたい。地球温暖化の解消や子どもの安全につながる試みである。管理は地元で行っていききたい。また、高齢者などの地元ボランティアへも管理への協力をお願いしていく考

ホームヘルパー2級の取得に對し、助成が必要であると思う。2級の資格を持つている人はかなりいるが、介護現場の処遇が改善されないため、現場に入ってもらえない。介護事業者の努力に頼るのは酷であり、国レベルでの支援が必要だと思う。

やぶ椿を朝山地区に植え、椿油を精製し、さまざまな催しに活用したい。先般は椿油を使った天ぷらの

紹介できる年齢の女性がないのが現状。この対策として、J Aが行っている結婚相談所で、国際結婚も視野に入れた展開をしてはどうか。

少子化対策として、結婚相談業務をやっている。立ち上げて1年半で7組が成婚した。45〜50歳の男性の申し込みは増えてきたが、

えである。これにより、学校と地域との交流にもつながる。
※6月12日(土)に、児童および保護者、大津地区住民約1,000人が芝苗の植付けを行いました。

■「市長面会日」は予約制です。

- 開催日／原則月2回(本庁1回、支所1回)
- 対象／個人またはグループ(5人以内)
- 面会時間／1人(グループ)あたり30分以内
- 広報情報課へお電話でお申し込みください。

先着順とします。

※市長面会日は、市民の皆さんのご意見を伺う場であり、陳情・要望などの直接交渉の場ではありませんのでご理解ください。

※提案・意見については、個人情報を除き原則公開します。

※開催日等は、広報いずもやホームページでお知らせします。

市長面会日(13時30分～16時)

開催日	場 所	申込受付期間
7月 9日(金)	市役所本庁	6月28日(月)～ 7月 6日(火)
7月27日(火)	市役所多伎支所	7月12日(月)～ 7月22日(木)

試食会を行った。先進地である隠岐での取り組みも学んだ。取り組みが定着するには10年かかると考えており、定着すればその他にもさまざまな活用方法があると思う。現在「やぶ椿の会(仮称)」の立ち上げを考えている。今後、森林公園・小中学校などに順次植えていきたい。

現在、市民の活動の場として、大社福祉健康センター(燦プラザ大社)2階を利用しているが不便な点がある。下肢機能が低下している方にとっては、エレベーターの利便性も悪い。1階スペースを開放していただくよう検討をお願いしたい。福祉バザーなどを開催し多くの人を集め、活気付けたい。